

2019年8月9日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮田 昌彦
(東証第一部・名証第一部 コード番号：7747)
問 合 せ 先 取締役 管理本部長 伊藤 瑞穂
(TEL. 0561-48-5551)

(訂正) 「2019年6月期 決算説明資料」の一部訂正について

本日、15時30分にTDネットにおいて発表いたしました「2019年6月期 決算説明資料」の記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、弊社ホームページ上の資料につきましても、直ちに差し替えを行っております。

記

1. 訂正の理由

2019年6月期決算説明資料に記載の誤りがあることが判明したため、訂正を行うものです。

2. 訂正内容 (訂正箇所には下線を付しております)

<該当ページ 21ページ>

為替変動による営業利益の影響・概算 (主な通貨)

(修正前) 中国元 (+0.1円の影響) : 約273百万円増加

(修正後) 中国元 (+ 1円の影響) : 約273百万円増加

以 上



Your dreams. Woven together.

2019年6月期 決算説明資料

2019年8月9日

(証券コード:7747 東証一部、名証一部)



目次

1. 2019年6月期(通期) 連結決算の概要

2. 2020年6月期(通期) 連結業績見通し



2019年6月期 決算のポイント-1

売上高は57,216百万円 <前年同期比 +14.2%>

～外部要因(医療償還価格下落)の影響あるも

メディカル事業の海外売上高を中心に堅調に推移し増加～

■ メディカル事業 ～主に海外市場における末端需要が堅調、且つ特需により大幅増加～

- PTCAガイドワイヤーは、医療償還価格下落や症例数減少の影響を受け減少、シェアは継続増加
- PTCAバルーンカテーテルは、ノンコンタイプ「NC Kamui」が牽引し数量増加
- 検査用ガイドワイヤー「Silverway」が施設拡大により売上高増加
- 非循環器系分野は、脳血管系領域において増加
- 医療償還価格の下落(△910百万円)
- 米国PTCAガイドワイヤーの直接販売化に伴い下半期より増加(上半期は併売)
- PTCAガイドワイヤーは全地域において好調に推移
- 循環器系領域の貫通カテーテルは全地域において好調に推移、欧州にて「SASUKE」販売開始
- 中国を中心に、他社供給不安に伴う特需による増加あり

国内

海外

■ デバイス事業 ～産業部材取引が減少するも、医療部材取引が好調により微増～

- ◆ 医療部材は、国内向け内視鏡関連部材及び米国向けの循環器系検査用カテーテル部材が好調
- ◆ 産業部材は、海外向けレジャー関連取引が増加するも、国内外の自動車関連取引が減少



2019年6月期 決算のポイント-2

営業・研究開発費用などが増加するも、 売上高好調に伴い営業利益は二桁増益

- **売上総利益は39,700百万円 <前年同期比 +13.9% >**
 - 売上高増加による売上総利益の増加
- **営業利益は15,168百万円 <前年同期比 +10.1% >**
 - 研究開発費(6,036百万円)の増加(前年同期比+984百万円、売上高比率10.6%)
 - 米国や中国市場などの販売・マーケティング強化費用の増加
 - 新社屋関連費用の発生
 - RetroVascular, Inc.(現ASAHI Medical Technologies, Inc.)の株式取得に伴うのれん費用の発生
- **経常利益は14,833百万円 <前年同期比 +8.0% >**
 - 為替差損の増加(前年同期比+383百万円)
- **親会社株主に帰属する当期純利益は11,237百万円 <前年同期比 +11.9% >**
 - 段階取得に係る差益の計上(400百万円)

為替 (単位:円)	US\$	EURO	中国元	BAHT
2019年6月期	111.15	126.81	16.28	3.45
2018年6月期	110.39	131.61	16.97	3.40



決算ハイライト

	2018年6月期 実績		2019年6月期 実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2018/8/10	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	50,124	100.0	54,493	57,216	100.0	+7,092	+14.2	+2,723	+5.0
売上総利益	34,855	69.5	37,093	39,700	69.4	+4,844	+13.9	+2,607	+7.0
営業利益	13,773	27.5	14,565	15,168	26.5	+1,395	+10.1	+602	+4.1
経常利益	13,740	27.4	14,557	14,833	25.9	+1,092	+8.0	+275	+1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,042	20.0	10,884	11,237	19.6	+1,195	+11.9	+353	+3.2
EPS *	38.88円	-	42.11円	43.29円	-	+4.41円	+11.3	+1.18円	+2.8

* :EPSにつきましては、2018年1月1日及び2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



セグメント別売上高

	2018年6月期 実績		2019年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	41,366	82.5	48,216	84.3	+6,849	+16.6
デバイス事業	8,757	17.5	9,000	15.7	+243	+2.8
合計	50,124	100.0	57,216	100.0	+7,092	+14.2

(参考)

医療機器分野	44,603	89.0	51,881	90.7	+7,278	+16.3
産業機器分野	5,520	11.0	5,335	9.3	△185	△3.4

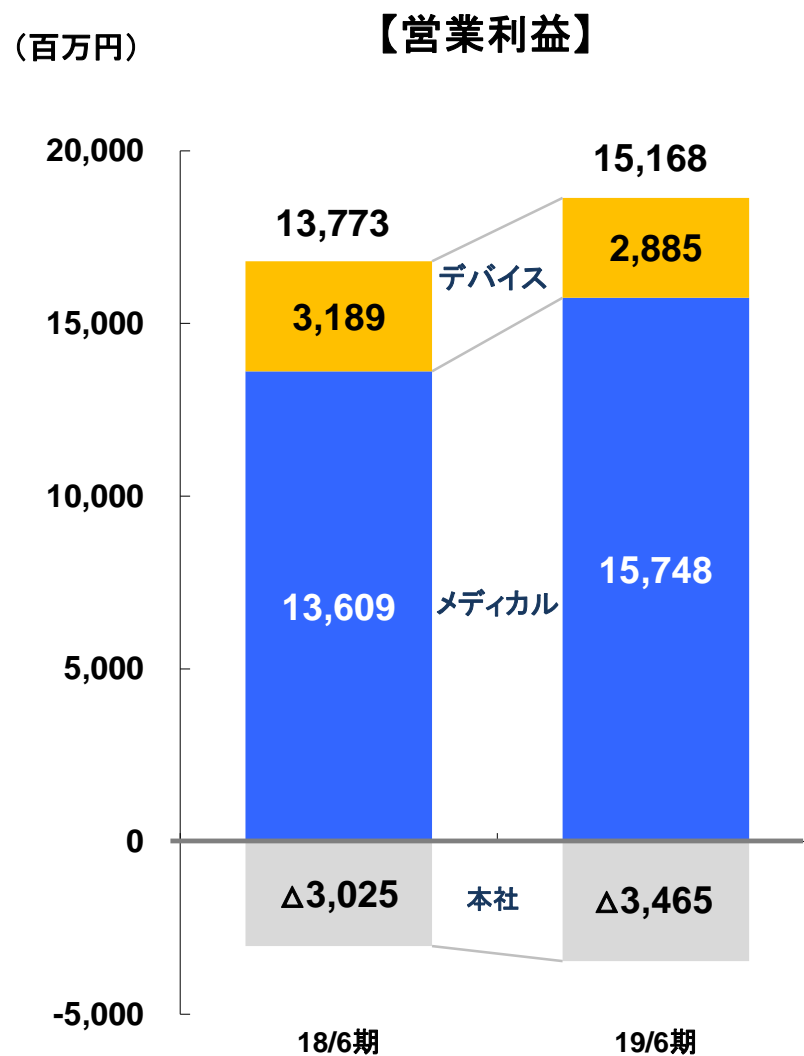
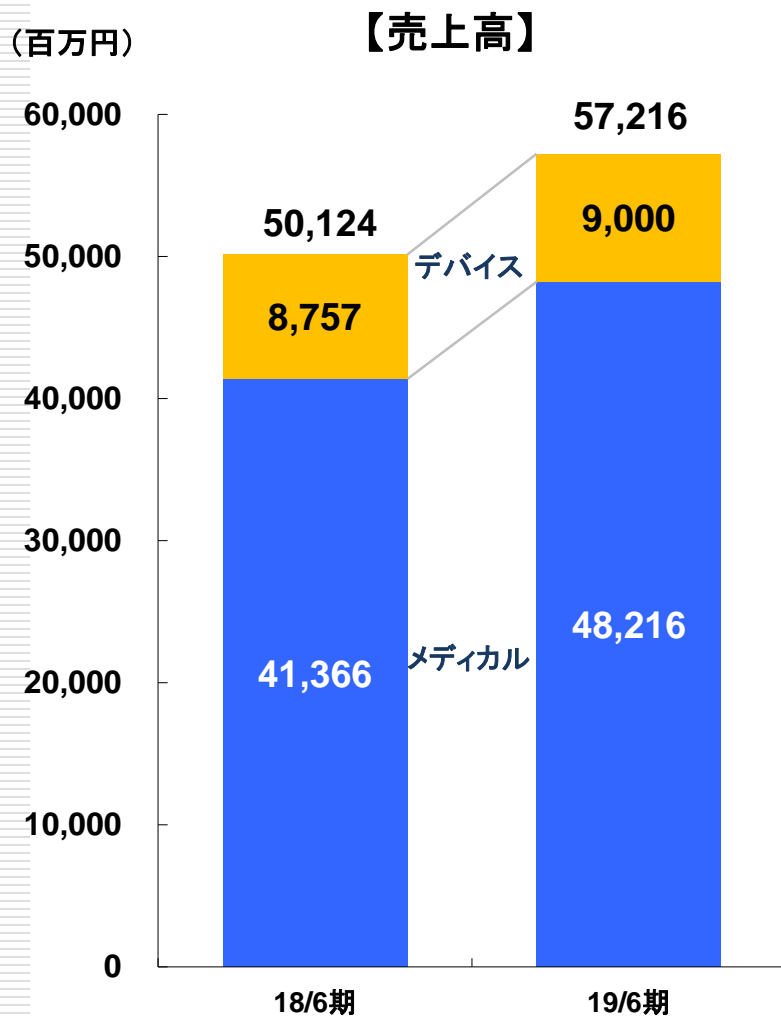


セグメント別営業利益

	2018年6月期 実績		2019年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	13,609	81.0	15,748	84.5	+2,139	+15.7
デバイス事業	3,189	19.0	2,885	15.5	△304	△9.5
計	16,798	100.0	18,634	100.0	+1,835	+10.9
消去・全社	△3,025	-	△3,465	-	△440	+14.5
合計	13,773	-	15,168	-	+1,395	+10.1
(ご参考) デバイス事業 セグメント間売上高	3,411	-	3,553	-	+141	+4.2



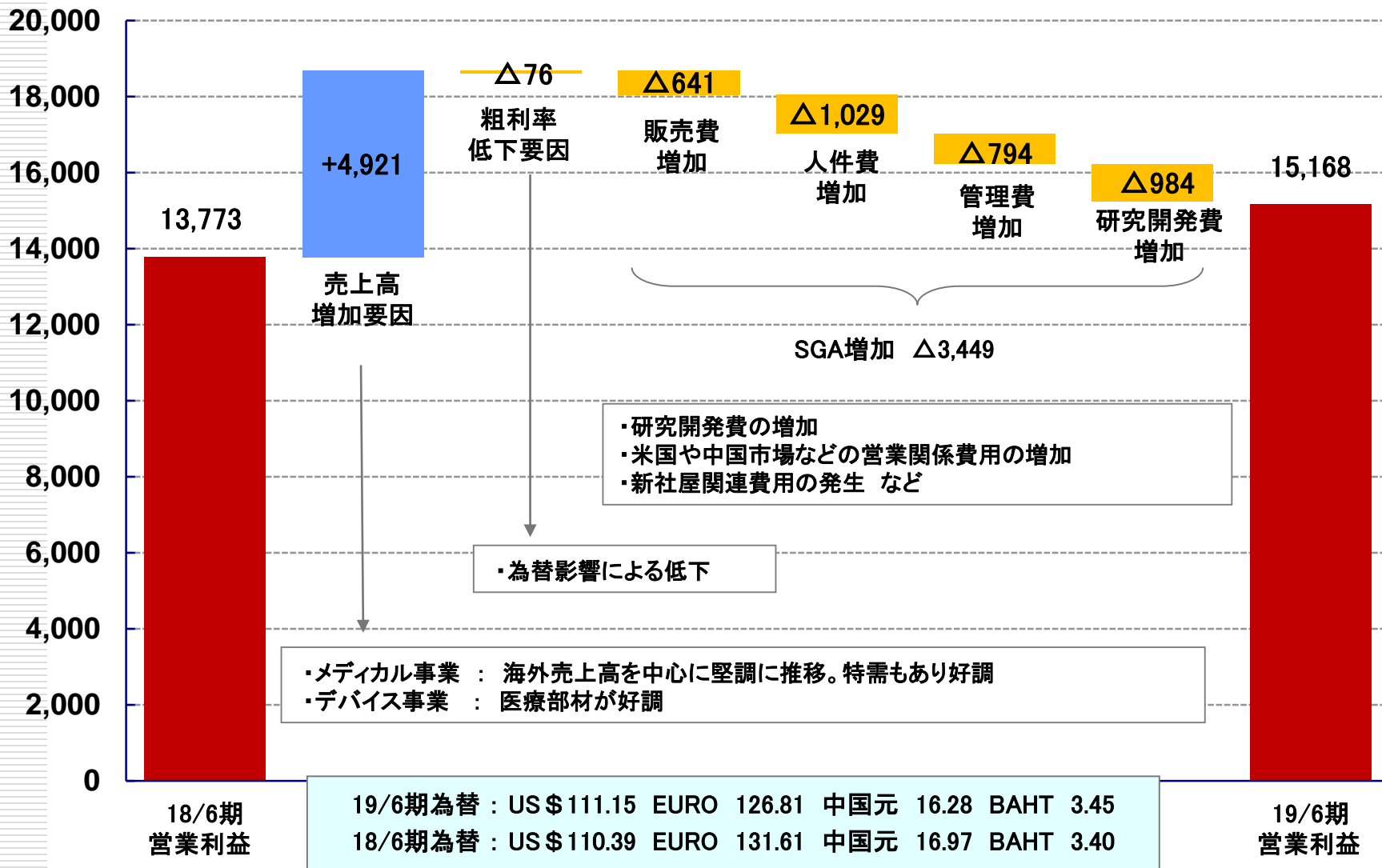
セグメント別の収益状況





営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)

(百万円)



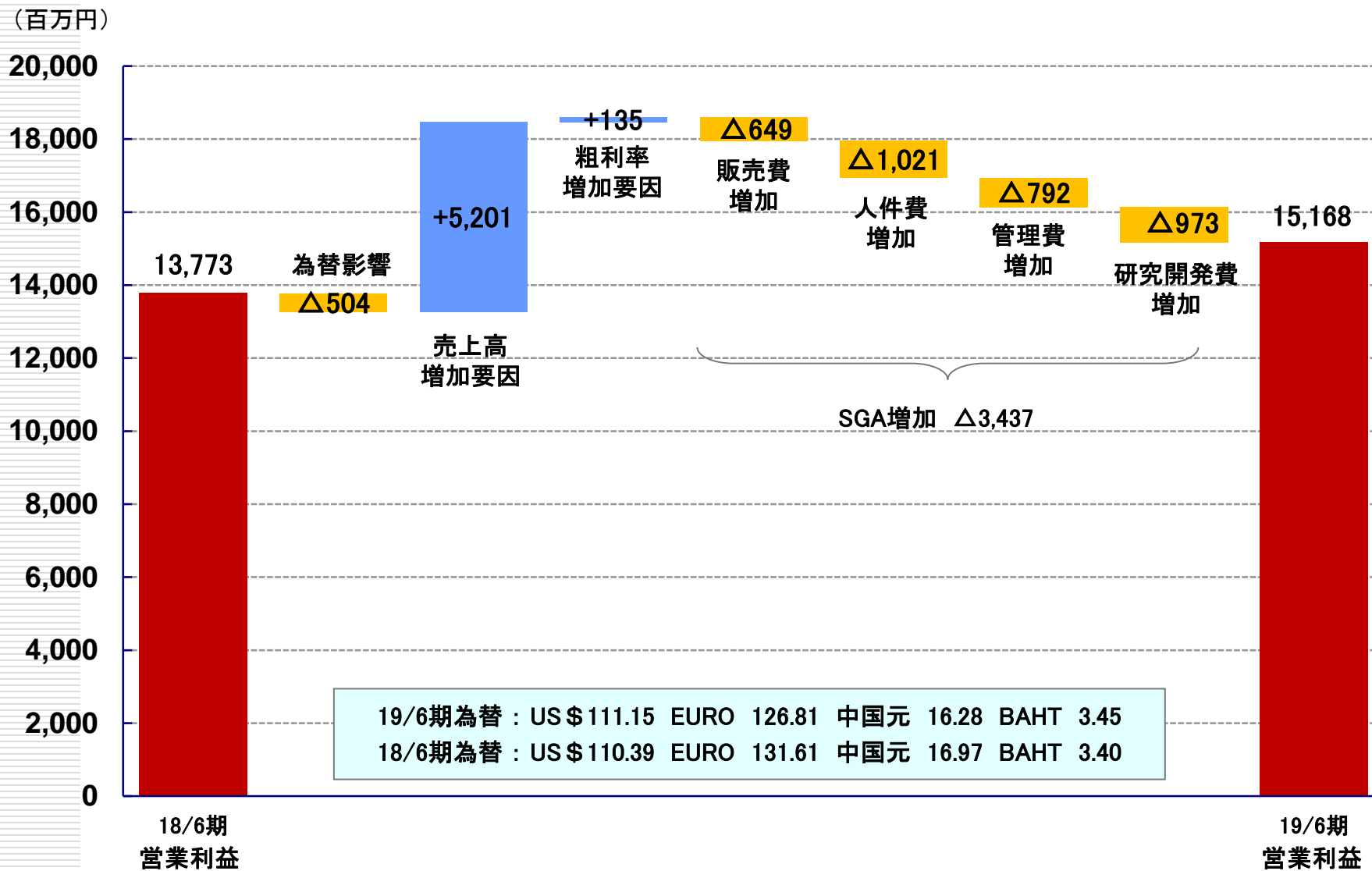
・研究開発費の増加
 ・米国や中国市場などの営業関係費用の増加
 ・新社屋関連費用の発生 など

・為替影響による低下

・メディカル事業 : 海外売上高を中心に堅調に推移。特需もあり好調
 ・デバイス事業 : 医療部材が好調

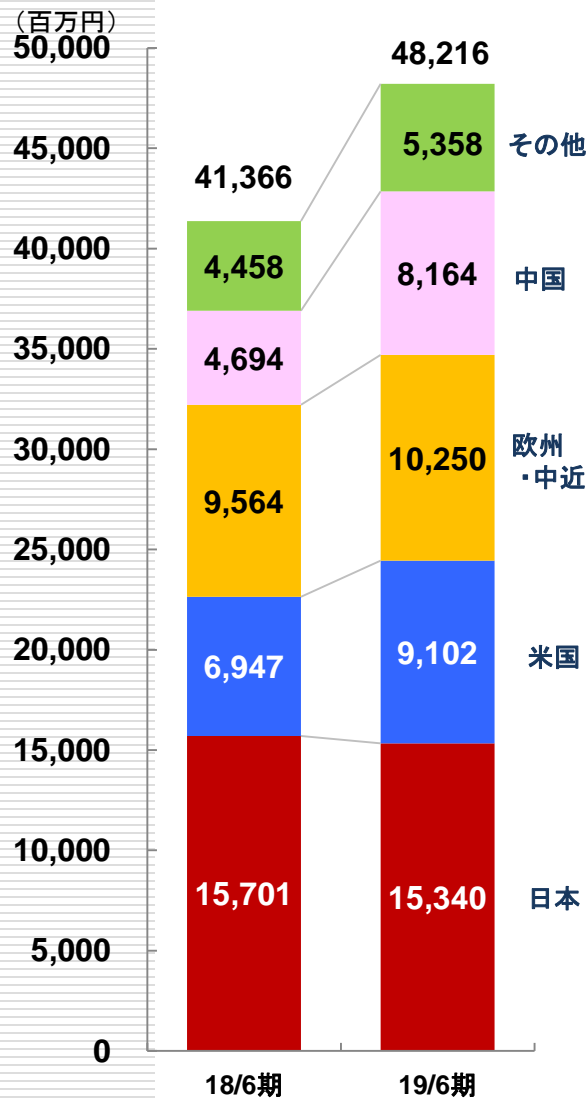


営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)





メディカル事業の状況(地域別-1)



【売上高(前年同期比)】

■ 日本: 医療償還価格下落による影響(△910百万円)や症例数の一時的な減少を受けて売上高は減少

- PTCAガイドワイヤー: 医療償還価格下落の影響を受け減少、シェアは継続増加
- PTCAバルーンカテーテル: 「NC Kamui」が伸長し数量増加
- 検査用ガイドワイヤー: 「Silverway」が施設拡大により売上高増加
- 非循環器系分野: 脳血管系領域において増加

■ 海外: 米国直販化を推進、中国を中心とした特需もあり大幅増加

- <米国> PTCAガイドワイヤー: 直接販売化に伴い下半期より増加(上半期は併売)
貫通カテーテル・ペリフェラルガイドワイヤー: 直接販売強化による増加
脳血管系領域: メトロニック社向け出荷開始による増加
- <欧州・中近東> PTCAガイドワイヤー: 市場シェア拡大による増加
貫通カテーテル: 「Caravel」好調、新製品「SASUKE」販売開始
脳血管系ガイドワイヤー: 好調に推移
- <中国> PTCAガイドワイヤー・貫通カテーテル「Corsair」:
複数代理店制への移行強化による増加、一部特需あり
- <その他> PTCAガイドワイヤー・貫通カテーテル:
主にアジアでの市場拡大に伴い好調に推移、一部特需あり

【営業利益】

- 研究開発費及び営業関係費用の投下あるものの、売上高の増加により増益



メディカル事業の状況(地域別-2)

(単位:百万円)

		2018/6期 実績	2019/6期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	110.39	111.15	+0.76	+0.7
	ユーロ	131.61	126.81	△4.80	△3.6
	中国元	16.97	16.28	△0.69	△4.1
売上高合計		41,366	48,216	+6,849	+16.6
日本		15,701	15,340	△360	△2.3
海外		25,665	32,875	+7,210	+28.1
米国		6,947	9,102	+2,154	+31.0
欧州・中近東		9,564	10,250	+685	+7.2
中国		4,694	8,164	+3,469	+73.9
その他		4,458	5,358	+900	+20.2
営業利益		13,609	15,748	+2,139	+15.7



メディカル事業の状況(患部領域別-1)

【売上高(前年同期比)】

循環器

■ 日本: 医療償還価格の下落や、症例数の一時的な減少の影響を受け減少

● PTCAガイドワイヤー: 医療償還価格下落の影響を受け減少、シェアは継続増加

● PTCAバルーンカテーテル: 「NC Kamui」が伸長し数量増加

● 検査用ガイドワイヤー: 「Silverway」が施設拡大により売上高増加

■ 海外: PTCAガイドワイヤー及び貫通カテーテルを中心として好調に推移

● PTCAガイドワイヤー: 全地域において好調に推移

米国にて直接販売化に伴い下半期より増加

中国市場を中心に特需あり

● 貫通カテーテル: 全地域において好調に推移、一部地域にて特需あり

非循環器

■ 日本: 脳血管領域において増加

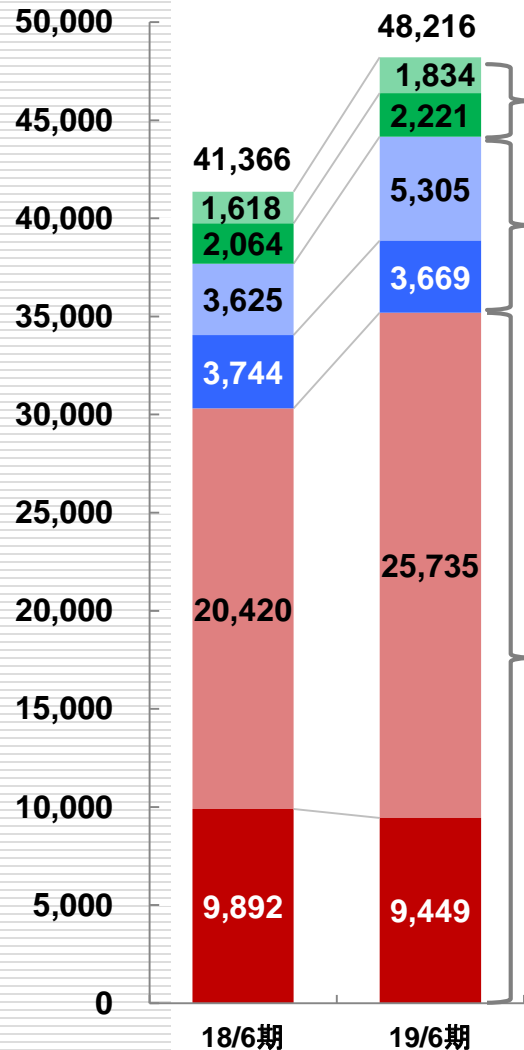
■ 海外: 末梢・腹部・脳血管系領域の全てにおいて好調に推移

OEM

■ 日本: 消化器用や末梢血管用ワイヤーなどの取引の増加

■ 海外: 末梢血管用ガイドワイヤーなどの取引の増加

(百万円)





メディカル事業の状況(患部領域別-2)

(単位:百万円)

		2018/6期 実績	2019/6期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	110.39	111.15	+0.76	+0.7
	ユーロ	131.61	126.81	△4.80	△3.6
	中国元	16.97	16.28	△0.69	△4.1
売上高合計		41,366	48,216	+6,849	+16.6
	日本	15,701	15,340	△360	△2.3
	海外	25,665	32,875	+7,210	+28.1
循環器		30,313	35,184	+4,871	+16.1
	日本	9,892	9,449	△443	△4.5
	海外	20,420	25,735	+5,314	+26.0
非循環器		7,370	8,974	+1,604	+21.8
	日本	3,744	3,669	△75	△2.0
	海外	3,625	5,305	+1,679	+46.3
OEM		3,683	4,056	+373	+10.1
	日本	2,064	2,221	+157	+7.6
	海外	1,618	1,834	+216	+13.3

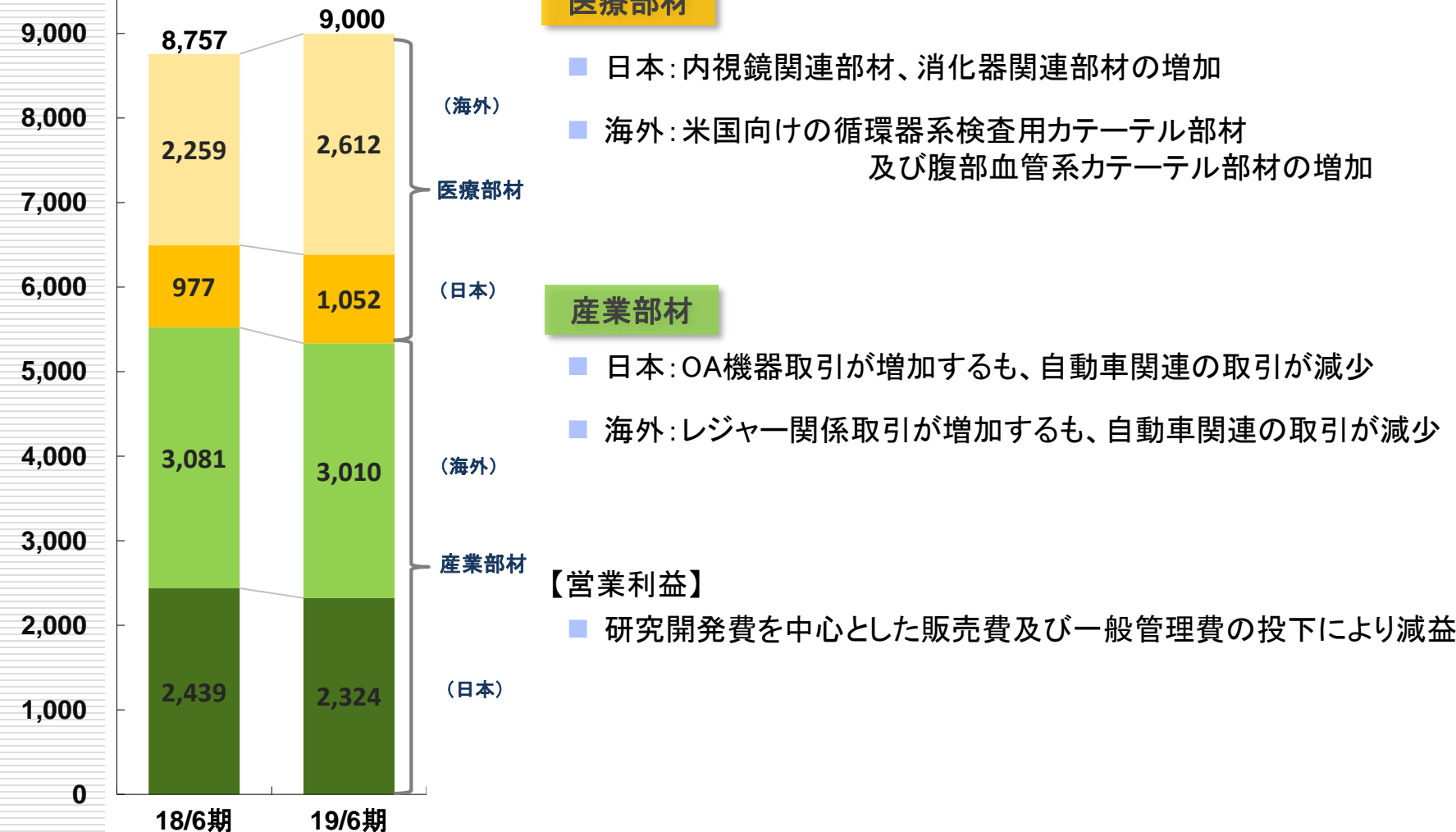


デバイス事業の状況-1

(百万円)

10,000

【売上高（前年同期比）】





デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

		2018/6期 実績	2019/6期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート (円)	ドル	110.39	111.15	+0.76	+0.7
売上高合計		8,757	9,000	+243	+2.8
	日本	3,416	3,377	△39	△1.1
	海外	5,341	5,623	+282	+5.3
医療部材		3,236	3,665	+428	+13.2
	日本	977	1,052	+75	+7.7
	海外	2,259	2,612	+353	+15.6
産業部材		5,520	5,335	△185	△3.4
	日本	2,439	2,324	△114	△4.7
	海外	3,081	3,010	△70	△2.3
営業利益		3,189	2,885	△304	△9.5
(ご参考) セグメント間売上高		3,411	3,553	+141	+4.2



損益の状況

	2018年6月期 実績		2019年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	50,124	100.0	57,216	100.0	+7,092	・メディカル事業の海外中心に好調に推移 ・特需影響あり
売上原価	15,268	30.5	17,516	30.6	+2,247	
売上総利益	34,855	69.5	39,700	69.4	+4,844	・好調な売上高に比例して増加
販管費	21,082	42.1	24,531	42.9	+3,449	・研究開発費及び営業関係費用の増加
営業利益	13,773	27.5	15,168	26.5	+1,395	
営業外収益	166	0.3	283	0.5	+117	・補助金収入の計上
営業外費用	198	0.4	618	1.1	+419	・為替差損の増加
経常利益	13,740	27.4	14,833	25.9	+1,092	
特別利益	0	0.0	402	0.7	+402	・段階取得に係る差益の計上
特別損失	201	0.4	278	0.5	+77	・有価証券評価損の計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,042	20.0	11,237	19.6	+1,195	
包括利益	10,623	21.2	11,335	19.8	+712	・その他有価証券評価差額金の減少 △965 ・為替換算調整勘定の増加 +627



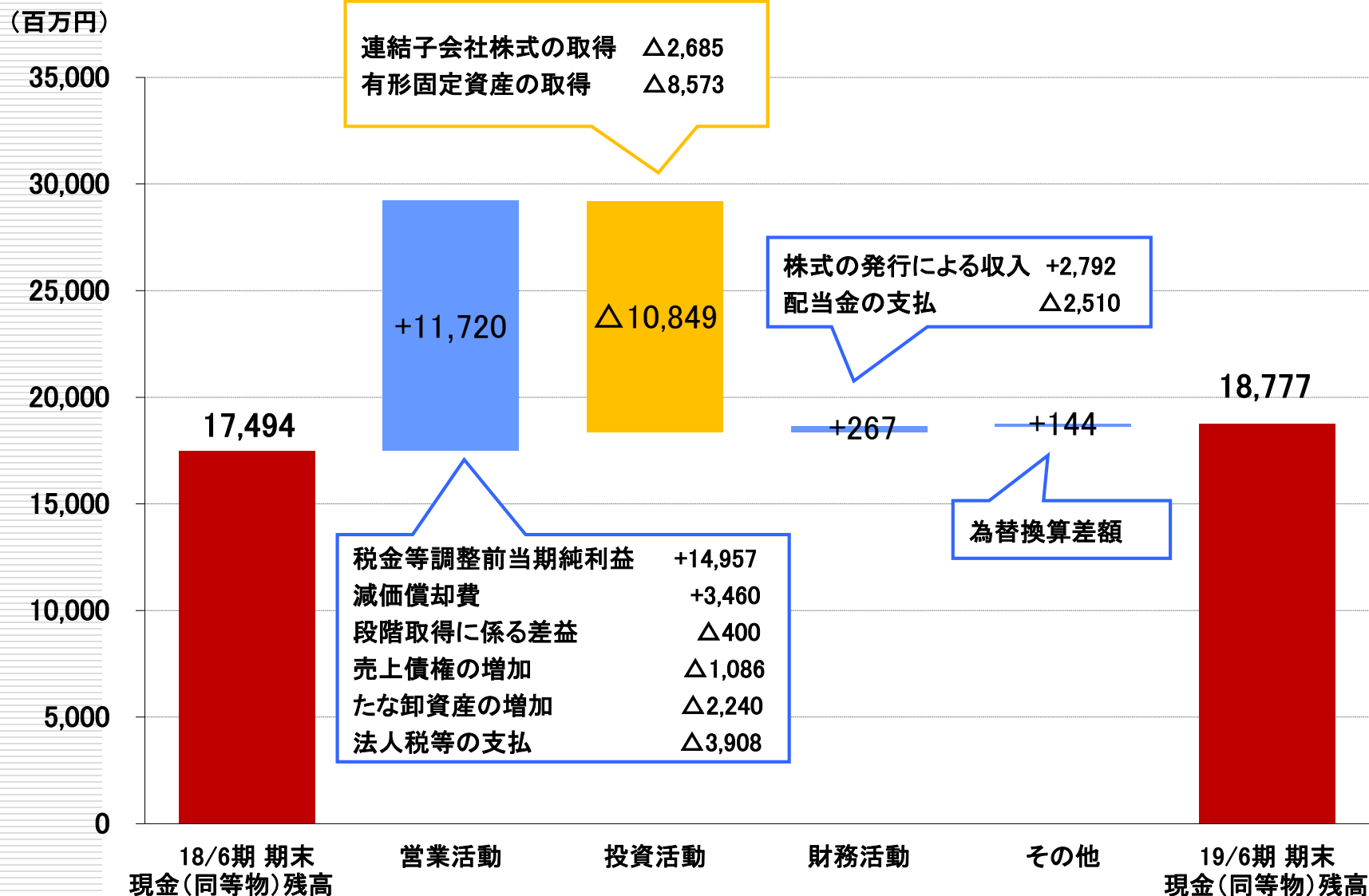
ご参考：財務の状況

		2018年6月期 実績		2019年6月期 実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	42,056	58.3	45,824	54.3	+3,767	棚卸資産 +2,410 売上債権 +1,096 現金及び預金 △381
	固定資産	30,048	41.7	38,534	45.7	+8,486	有形固定資産 +5,232 のれん +2,849
資産合計		72,104	100.0	84,358	100.0	+12,254	
負債	流動負債	12,392	17.2	12,621	15.0	+228	短期借入金 +263
	固定負債	6,112	8.5	6,286	7.5	+174	長期借入金 △447 繰延税金負債 +316 退職給付に係る負債 +325
負債合計		18,505	25.7	18,908	22.4	+403	
純資産合計		53,599	74.3	65,450	77.6	+11,850	利益剰余金 +8,726 資本金 +1,502 資本剰余金 +1,502
負債・純資産合計		72,104	100.0	84,358	100.0	+12,254	

* : 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年6月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年6月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。



ご参考：キャッシュ・フローの状況





目次

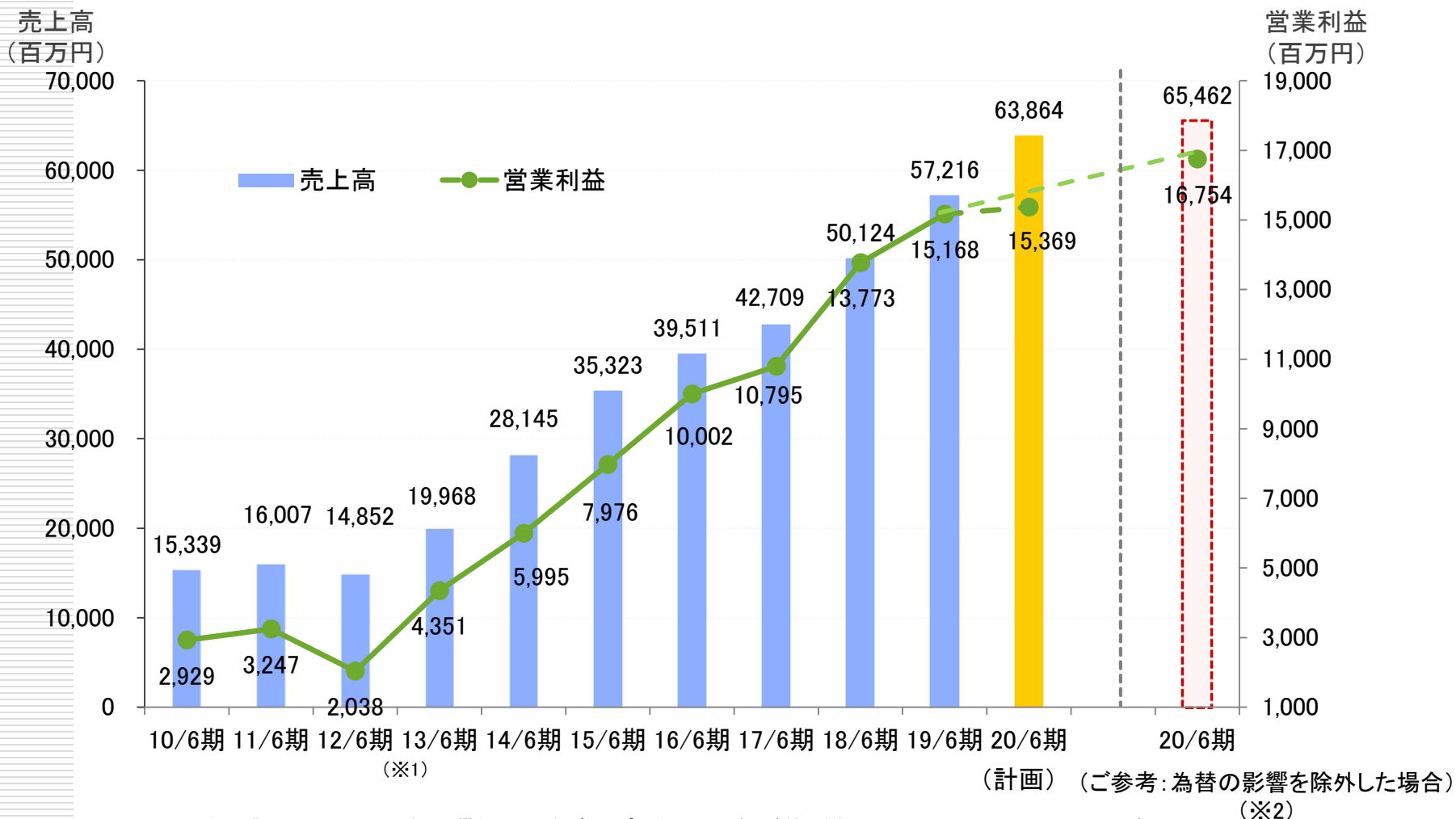
1. 2019年6月期(通期) 連結決算の概要

2. 2020年6月期(通期) 連結業績見通し



中期経営計画：2020年6月期までの収益目標

需要増加継続するも、為替動向及び医療償還価格の下落により利益横ばい



(※1) 2012年6月期においては、タイ洪水の影響を受け、当社グループの主力工場である連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.が一時的に稼働を停止し、減産を余儀なくされたために、一時的な減収減益となっております。

(※2) 2019年6月期実績と同じ為替前提にて、2020年6月期を試算した場合の、売上高・営業利益を表記しております。



2020年6月期決算の見通し

為替動向や、医療償還価格の下落などの外部要因による減収要因あるも
 メディカル事業の海外売上高拡大に伴い二桁増収
 研究開発費や海外営業強化に伴うコスト増加により営業利益は微増

■ 海外を中心とした需要増に伴い売上高は63,864百万円(前年同期比+11.6%)を見込む

増収要因

- PTCAガイドワイヤーの全地域における更なる市場シェア拡大
- 米国PTCAガイドワイヤーの通年での直接販売、数量増加
- 中国市場の循環器製品について、特需の実需化、PTCAガイディングカテーテル拡販に伴い増加

減収要因

- 医療償還価格の下落(影響金額 △687百万円)
- 為替動向の影響(△1,598百万円)

■ 研究開発や海外営業強化に伴うでSGAの増加により、営業利益は微増確保

- 売上総利益率は、固定費(減価償却費)の増加などに伴い微減
- 営業利益は15,369百万円(同+1.3%)
 - 研究開発費用の増加(同+1,132百万円、売上高比率 11.2%)
 - 米国・中国を中心とした海外営業強化に伴う費用増加(+1,820百万円)
- 経常利益は15,373百万円(同+3.6%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益は11,310百万円(同+0.6%)

為替の前提	(単位:円)			
2020年6月期 (計画)	US \$	108.00	EURO	120.00
	中国元	15.50	BAHT	3.50
2019年6月期	US \$	111.15	EURO	126.81
	中国元	16.28	BAHT	3.45

為替変動による営業利益の影響・概算(主な通貨)

US \$ (+1 円の影響) : 約 184百万円 増加
 EURO (+1 円の影響) : 約 67百万円 増加
 中国元 (+1 円の影響) : 約 273百万円 増加
 BAHT (+0.1 円の影響) : 約 254百万円 減少



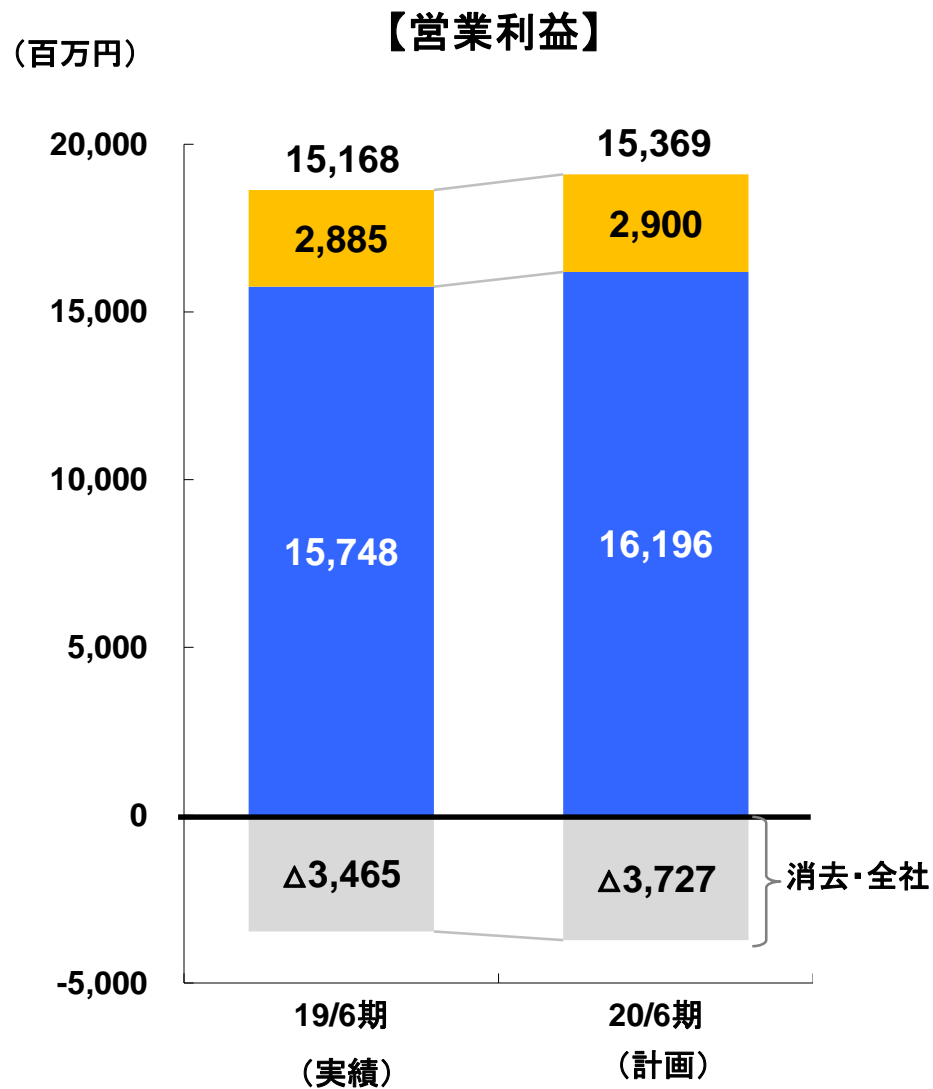
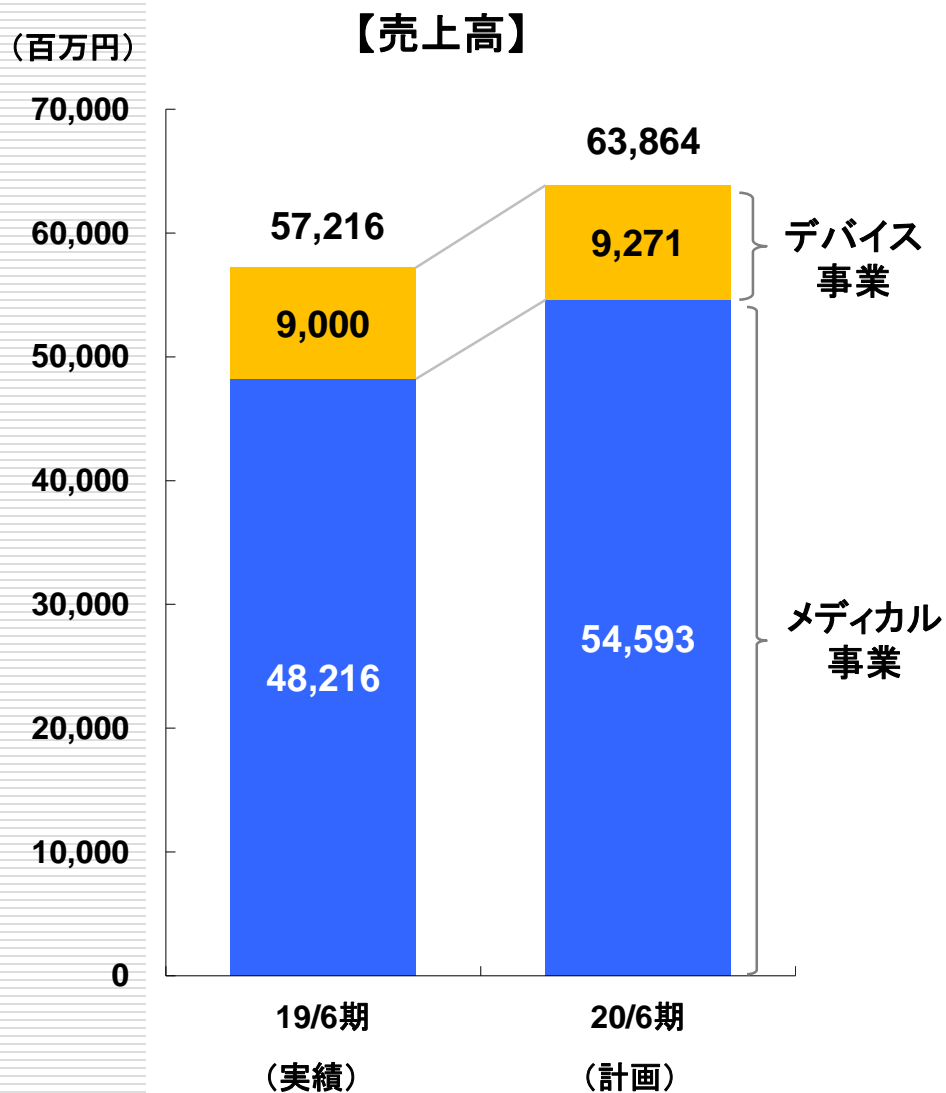
2020年6月期業績見通し

	2019年6月期(実績)		2020年6月期(計画)				(ご参考) 2020年6月期(計画) 前期と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	57,216	100.0	63,864	100.0	+6,647	+11.6	65,462	100.0	+8,245	+14.4
売上総利益	39,700	69.4	43,617	68.3	+3,917	+9.9	45,211	69.1	+5,510	+13.9
営業利益	15,168	26.5	15,369	24.1	+201	+1.3	16,754	25.6	+1,585	+10.5
経常利益	14,833	25.9	15,373	24.1	+540	+3.6	16,758	25.6	+1,924	+13.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,237	19.6	11,310	17.7	+72	+0.6	12,694	19.4	+1,456	+13.0
EPS(円)*	43.29	—	43.46	—	+0.17	+0.4	48.78	—	+5.49	+12.7

*: EPSにつきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



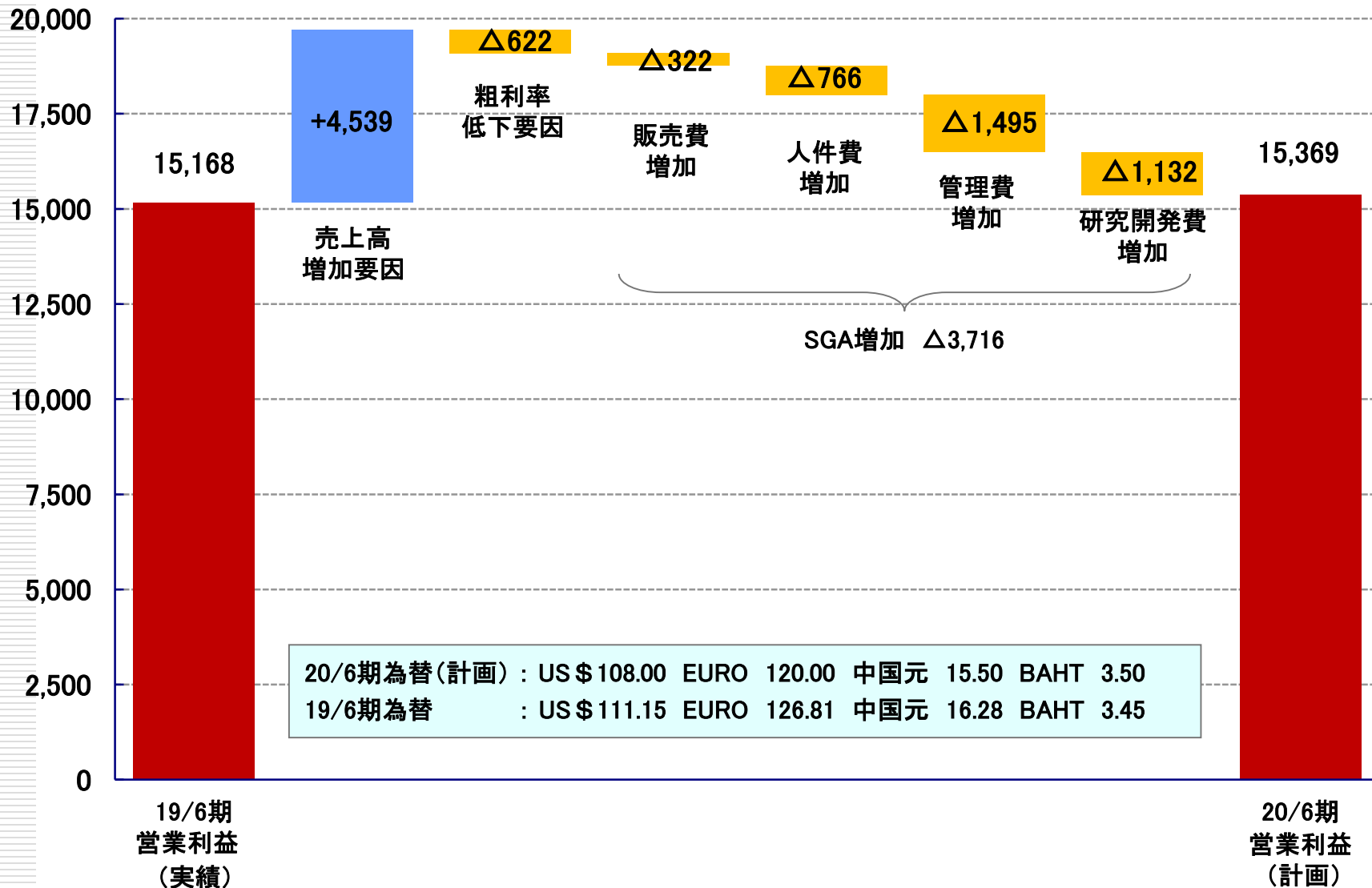
セグメント別の収益見通し





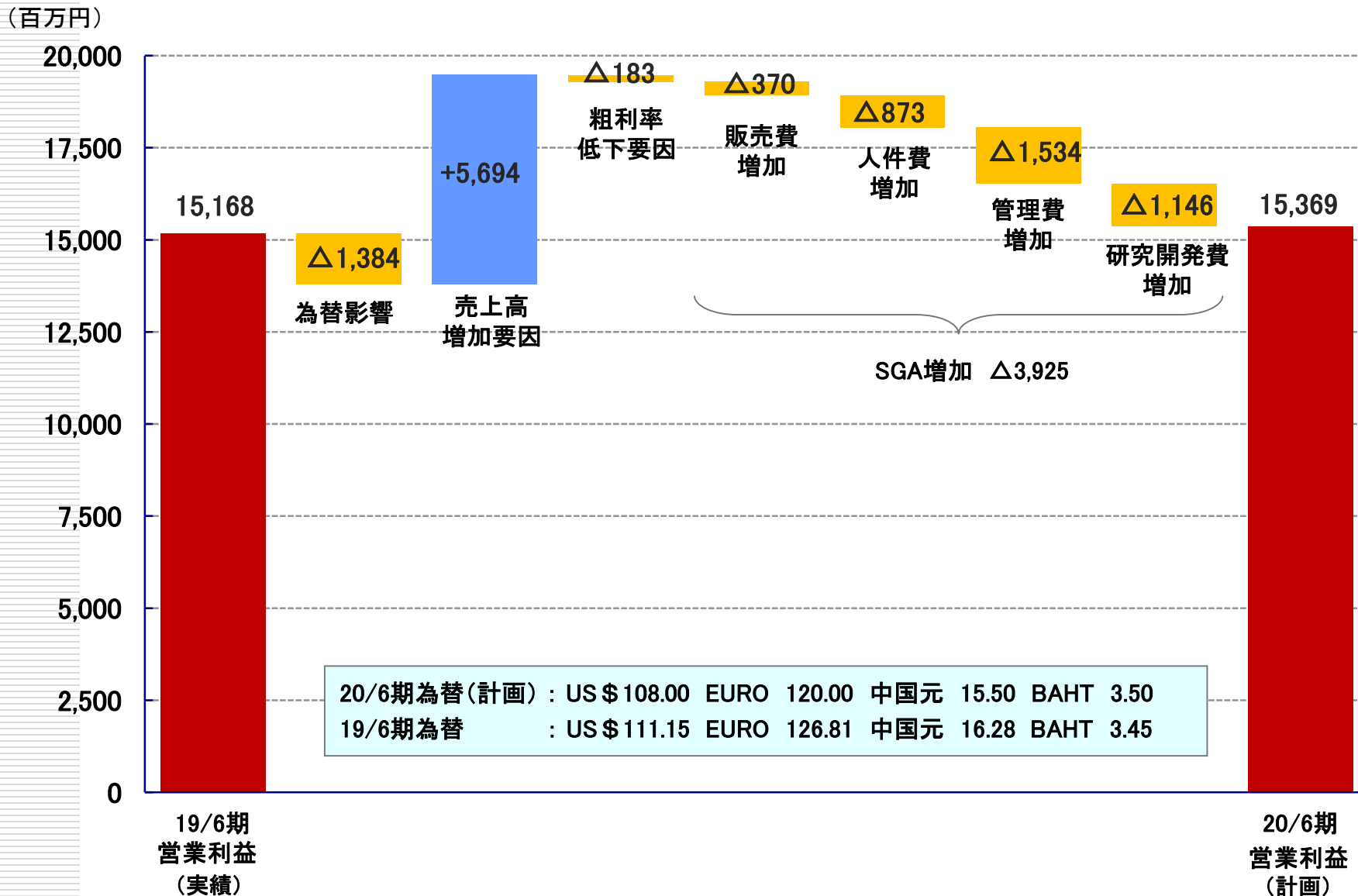
営業利益増減要因分析(為替の影響を含む)

(百万円)





営業利益増減要因分析(為替の影響を除く)





設備投資の実績及び計画

将来の増産に向けた海外工場拠点の拡充を実施

(百万円)

主な投資案件	18/6期(実績)	19/6期(実績)	20/6期(計画)
瀬戸 新社屋の建設	2,705	2,154	
東北R&Dセンターの設立	683	294	
タイ メディカル新工場土地・建物			2,271
タイ メディカル工場拡張	1,159	1,478	
セブ メディカル第1工場の立上	436	302	
セブ メディカル第2工場の立上		478	1,683
セブ デバイス新工場土地・建物			857
基幹系システム(SAP)の導入	143	507	1,243

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

■ 設備投資額
■ 減価償却費

3,027

1,178

2,390

1,513

3,784

1,959

3,836

2,286

5,169

2,552

8,183

2,886

9,702

3,460

13,474

4,339

13/6期

14/6期

15/6期

16/6期

17/6期

18/6期

19/6期

20/6期
(計画)

(実績)



研究開発費の推移

研究開発費
(百万円)

新規案件対応のための開発費用の増加

売上高研究開発費比率





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
朝日インテック株式会社 経営戦略室
TEL 0561-56-1851 (Direct)
URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>